

多様性きらめく時空へ ～第74回鯨光祭に寄せて～

鯨光祭の季節がやってきた。それは、旭丘生たちの魂が揺らめき、一人一人の個性が躍動し、彩りを帯びながら輝きを放つ期間であり、相互に影響し合い、葛藤・融合しながら全体としてのエネルギーが膨れ上がる瞬間でもある。

コロナ禍に見舞われたこの2年間、数々の困難な課題と条件を乗り越え、現在まで引き継いできた鯨光祭の伝統がある。継承する強い意志と情熱、そしてこれらを具現化する構想力や企画力、さらに現実化する協働性と実行力は素晴らしいものがあった。旭丘生たちの精神の自律性と意志の力に敬意を表したい。

旭丘高校は、唯一無二の存在であり、今後もそうでありあり続けることを希求する学び舎である。しかし、鯨光祭の期間、定められた計画を皆と実行しただけでは、「唯一無二」を標榜することは難しい。これを可能にするのは、旭丘生たちの日常生活の枠を超えたこの日この時一回限りの個性の発露であり、全体としての多様性の力と輝きの発現である。また、それらの相互作用の中で湧き上がるエネルギーと共同体感覚、さらには創造力や言葉の力を通して、社会や人類へとつながる共感覚の覚醒が求められる。個人的には、多くの旭丘生たちの討論会への参画をとおして、多様性と創造性に富んだ新しい言論空間の誕生を期待している。

第74回鯨光祭のテーマ「鯨彩奪目」を胸に、すべての旭丘生が文字通り眩いばかりの個性と言葉と行動の力を存分に発揮し、伝統の継承者であることを超えて、未来に向けた創造者としての誇りを抱きつつ、フィナーレを迎えられることを心から祈念している。

令和4年9月 校長 小林 整次

鯨光祭

これまで、この日のためにどれだけの努力を重ねてきたのだろう

これから始まるのは、旭丘生が作り上げた最高の六日間だ

うれしいことや楽しいこと、旭丘でしかできない体験があなたを待っている

さあ、待ち焦がれていた鯨光祭が

いま、始まる

学校祭実行委員長 山本はすみ

不確かな揺れる世界の中で、

私たちはどうしたって未熟で、無力だ。

けれど、だからこそ放てる熱がある。

私たちにしか描けない未来がある。

さあ、大きく一歩前へ。

進み続けよう。求め続けよう。

伝統の灯を、鯨光の輝きをつなごう。

六日間の幕が上がった。

主役は私たちだ。

生徒会長 落合里美



学校祭実行委員会

■ 舞台系前夜祭実行部門

前夜祭の運営を行います。感染症対策をはじめ、みなさんが安全に前夜祭を楽しめるよう努めます。当日は安心して盛り上がってください!!!

■ 体育祭実行部門

体育祭に関することを1から話し合っていて決めていきます。今年は新たな試みが多く、どうなるかは正直私も想像がつきません。でも、やれる準備はすべてやってきたつもりです!!だから皆さん、当日全力で楽しんで、体育祭を盛り上げてもらえると嬉しいです!!!!!!

■ 舞台系舞台発表実行部門

鯨光祭3日目に行われる舞台発表の運営を担います。
ぜひ当日楽しんでください!

■ 分科会実行部門

分科会の運営や講師のサポートなどを行います。分科会を影から(?)支える部門です!!

■ 討論会実行部門

討論会を1からデザインするお仕事をしました。部門の人気そのままに討論会当日も沢山の方が出席してくださることを期待しております！

「今年の討論会」がどうか皆さまのお口に合いますように。

■ 文化祭実行部門

資材配布や当日の見回りなどを主な仕事として行います。

華の文化祭の支えとなることができる部門です！

■ 舞台系後夜祭実行部門

私たちは後夜祭の運営、シンボル灯、火文字の製作を行います。

皆さんも後夜祭を楽しみましょう！

■ 鯨光祭アプリ部門 (KADT)

Android、iOS 向けのアプリに加えて鯨光祭公式サイトも制作しています。

ぜひ「第74回鯨光祭」と調べてみてください！

■ プログラム編集部門

このプログラムを作成しました。40 人の集大成となる大傑作です。

広告ページと一番後ろに編集後記があるのでぜひご覧くださいね。

機材長から一言！

機材の力を使って、前夜祭、
舞台発表、後夜祭をよりよい
ものにしていきます！！！！

部門紹介

目立ちにくい部門かもしれない…だけど！！

鯨光祭への貢献度自称ナンバー１！！ ほぼ

全てのイベントに関わる働き者！！

機材の仕事内容!(^^)!

前夜祭等で使っている音響照明機材は、実は……機材管理
部門が設置しているんです！！機材を通して、団体さんの
発表をより楽しく、華やかなものにしています！！

広報部門

◆ 部門長から一言！ ◆

『部門内でデザインを募集、決定し、丹精込めて制作した装飾物、ぜひお楽しみ下さい！』



◆ 部門紹介 ◆

『広報部門では飾り門や中庭の横断幕、来訪者自由投稿欄、HR発表案内板などの装飾物の制作を行いました。みなさんの思い出の一部になることを切に願います！』

◆ 表紙絵説明 ◆

『鯨光祭テーマの元になった光彩奪目になぞらえて、光の描写に力を入れました。鯨から連想される海の青を基調とする配色で、爽やかさと鯨光祭のわくわくするイメージが伝わっていると嬉しいです！』

◆ エンブレム説明 ◆

『今年度の鯨光祭テーマ「鯨彩奪目」に合わせ、人間の眼と鯨をかけ合わせたデザインを考えました。旭丘高校の一大イベントである鯨光祭に、エンブレムという形で携わることができて嬉しく思います！』